

2014年1月15日

「ミナミバンドウイルカ調査」報告書

正 智子

講師 岡部晴菜 興克樹

参加者 奥村暢男 太田健二郎 水野康次郎 鼎丈太郎 正智子

日時 2014年1月13日(月)

場所 加計呂麻島薩川湾鳥瀬

目的

大島海峡内の「ミナミバンドウイルカ」の生息・生態調査を実施する予定であったが、ミナミバンドウイルカの死骸が発見されたため、ミナミバンドウイルカの解剖に調査内容を変更し実施した。

2014年1月12日(日)にダイビング目的で鳥瀬のポイントへ到着したアクアダイブコホロの太田健二郎さんが、浜に打ち上がっているイルカの死骸を発見した。写真データからミナミバンドウイルカであることが判明した。奄美大島地域個体群は150~200頭調査されていて、そのうちの1頭と見られる。岡部春菜氏(沖縄美ら島財団総合研究センター)と興克樹氏(奄美海洋生物研究会)が、外部計測及び解剖を実施した。骨格については、全身骨格標本とし、瀬戸内町立郷土館にて活用してもらう予定である。

成果

別紙参照



調査風景



加計呂麻島薩川湾鳥瀬



計測中



計測中



解剖中



肋骨部分を並べて紐で結ぶ



骨格標本用（左右の部位ごとに分ける）



埋める作業



サンプルを小分けにする作業